

Kappa Novels



お願い——

この本をお読みになって、どんな感想をもたれたでしょうか。「読後の感想」を左記あてにお送りいただけますしたら、ありがたく存じます。なお、このほかに、「カッパの本」では、どんな本を読まれたでしょうか。どの本にも、一字でも誤植がないようにつとめておりますが、もしお気づきの点がありましたら、お教えください。ご職業、ご年齢などもお書きそえくだされば、幸せに存じます。

東京都文京区音羽二の十二の十三

(郵便番号112)

光文社 出版局

長編アクション小説 俺に墓はいらない

昭和44年9月20日 初版発行

昭和50年12月1日 42版発行

著者 大 薮 春 彦

東京都世田谷区松原3-3-18

発行者 小 保 方 宇 三 郎

印刷者 堀 内 文 治 郎

東京都千代田区三崎町2-18-11

堀 内 印 刷

発行所 東京都文京区音羽2 株式会社 光 文 社
振替 東京115347 会社

落丁本・乱丁本は本社でお取替えいたします。

(関川製本)

表紙の模様・意匠登録 116613

© Haruhiko Oyabu 1969



謹告

印刷、用紙などの値上がりにもない、定価改訂を余儀なくされることがあります。そのさい、一時、カバーの定価とこの目録の定価に、多少のくいちがいが生じることもあ
るかと存じます。そのばあいは、カバーの定価が正しいのです。ご了承願います。

注(*印は昭和50年2月現在品切れ中です。)

長編推理小説 セロの焦点 松本 清張 ¥五八〇	長編推理小説 からみ合い 南條 範夫 ¥五八〇	長編推理小説 夜の触手 大岡 昇平 ¥二二〇	長編推理小説 眼の壁 松本 清張 ¥五八〇	長編推理小説 二人で殺人を 佐野 洋 ¥二四〇	長編推理小説 耳(みみ) 水上 勉 ¥二七〇	長編推理小説 白昼の死角 高木 彬光 ¥六五〇	長編推理小説 波の塔 松本 清張 ¥六五〇	長編推理小説 点と線 松本 清張 ¥五〇〇	長編推理小説 図々しい奴(やつ) ①③③ 柴田錬三郎 *各¥二九〇	長編推理小説 乗取 城山 三郎 ¥五八〇	長編推理小説 成吉思汗(モンゴ)の秘密 高木 彬光 ¥五八〇
長編推理小説 蒼い描点 松本 清張 ¥六〇〇	長編推理小説 長い長い眠り 結城 昌治 ¥二〇〇	長編推理小説 夜を探がせ 石原慎太郎 ¥五八〇	長編推理小説 人喰い 笹沢 左保 ¥二九〇	長編推理小説 光と影 三好 徹 ¥二〇〇	推理小説 黒い画集全一冊 決定版 松本 清張 ¥六五〇	長編推理小説 爪(つめ) 水上 勉 ¥二八〇	長編推理小説 仮面の人 南條 範夫 ¥二二〇	長編推理小説 影の地帯 松本 清張 ¥六〇〇	推理小説 黒地の絵 松本 清張 ¥五八〇	長編推理小説 完全試合 佐野 洋 ¥三五〇	長編推理小説 砂の器 松本 清張 ¥六五〇
長編推理小説 誘拐 高木 彬光 ¥六五〇	長編推理小説 虚名の鎖(くさりのくさり) 水上 勉 ¥六〇〇	長編推理小説 人(ひと) 蟻(ひとあり) 高木 彬光 ¥五八〇	長編推理小説 仲のいい死体 結城 昌治 ¥二〇〇	長編推理小説 迷彩 円地 文子 ¥二二〇	長編推理小説 空白の起点 笹沢 左保 ¥三〇〇	長編推理小説 高校殺人事件 松本 清張 ¥五八〇	長編推理小説 黒の試走車 梶山 季之 ¥五八〇	長編推理小説 三人の女 柴田錬三郎 ¥六〇〇	長編推理小説 霧に消えた人 円地 文子 ¥二五〇	長編推理小説 考える葉 松本 清張 ¥六〇〇	推理小説 危険な斜面 松本 清張 ¥五八〇



長編推理小説 歌と死と空 大岡昇平 ¥二八〇	長編推理小説 追跡 高木彬光 ¥六〇〇	長編小説 風の視線 松本清張 ¥六〇〇	長編推理小説 黄色い風土 松本清張 ¥六五〇	長編推理小説 無効試合 佐野洋 ¥二二〇	長編小説 赤い水 杉浦明平 ¥二五〇	長編推理小説 黒い樹海 松本清張 ¥五八〇	長編推理小説 肌色の仮面 高木彬光 ¥六〇〇	長編推理小説 時間の習俗 松本清張 ¥六〇〇	長編推理小説 眼(め) 水上勉 ¥六五〇	長編小説 三日三月三年 源氏鶏太 ¥六〇〇	長編小説 七人の敵あり 源氏鶏太 ¥六〇〇	長編小説 女性自身 源氏鶏太 ¥六〇〇
長編小説 夜の配当 梶山季之 ¥六〇〇	長編推理小説 特捜圏外 佐賀潜 ¥二六〇	長編推理小説 刺青殺人事件 高木彬光 ¥五八〇	長編推理小説 汚れた夜 石原慎太郎 ¥五八〇	長編推理小説 魔虚の唇 黒岩重吾 ¥六五〇	長編推理小説 薔薇海溝 水上勉 ¥六〇〇	長編小説 水の炎 松本清張 ¥六〇〇	長編小説 神と野獣の日 松本清張 ¥二五〇	長編推理小説 蜜の巣 佐野洋 ¥三二〇	長編小説 女の小箱 黒岩重吾 ¥六五〇	長編推理小説 701号法廷 佐賀潜 ¥三五〇	松本清張短編全集(カッパ版) ①西郷札 松本清張 ¥二八〇	松本清張短編全集(カッパ版) ②青のある断層 松本清張 ¥二八〇
松本清張短編全集(カッパ版) ③張込み 松本清張 ¥三八〇	松本清張短編全集(カッパ版) ④殺意 松本清張 ¥二八〇	松本清張短編全集(カッパ版) ⑤声 松本清張 ¥二八〇	松本清張短編全集(カッパ版) ⑥青春の彷徨 松本清張 ¥二八〇	松本清張短編全集(カッパ版) ⑦鬼畜 松本清張 ¥三五〇	松本清張短編全集(カッパ版) ⑧遠くからの声 松本清張 ¥二八〇	松本清張短編全集(カッパ版) ⑨誤差 松本清張 ¥三五〇	松本清張短編全集(カッパ版) ⑩空白の意匠 松本清張 ¥二八〇	松本清張短編全集(カッパ版) ⑪共犯者 松本清張 ¥三五〇	長編推理小説 夢の超特急 梶山季之 ¥五八〇	長編推理小説 黒白の虹 高木彬光 ¥六〇〇	長編小説 火の鳥 伊藤整 ¥二八〇	長編推理小説 盗作の風景 笹沢左保 ¥二八〇



破戒 長編推理小説 裁判 高木 彬光 ¥五〇〇	検事霧島三郎 長編推理小説 高木 彬光 ¥六〇〇	恐喝 長編推理小説 (かつあげ) 佐賀 潜 ¥五八〇	花実のない森 長編推理小説 松本 清張 ¥五八〇	囚 長編推理小説 (おとり) 梶山 季之 ¥五五〇	断崖 長編推理小説 石原 慎太郎 ¥二六〇	吹雪の空白 長編推理小説 水上 勉 ¥五〇〇	捜査検事 連作推理小説 高木 彬光 ¥五〇〇	火の虚像 長編推理小説 笹沢 左保 ¥二八〇	別れて生きる時も 長編小説 田宮 虎彦 ¥二四〇	危険な椅子 長編小説 城山 三郎 ¥二九〇	求婚 長編小説 「女たち」改題 中村 真一郎 ¥二八〇	日本アパッチ族 SF長編小説 小松 左京 ¥五八〇
黒幕 長編推理小説 (くろまく) 佐賀 潜 ¥五〇〇	密告者 長編推理小説 高木 彬光 ¥五八〇	死火山系 長編推理小説 水上 勉 ¥五八〇	怪文書(調査資料より) 日本代表推理小説全集6 梶山 季之 他 ¥四〇〇	妖婦の宿 日本代表推理小説全集5 高木 彬光 他 ¥三七〇	不知火海沿岸 日本代表推理小説全集4 水上 勉 他 ¥三七〇	無惨や二郎信康 日本代表推理小説全集3 南條 範夫 他 ¥三七〇	崩れた顔 日本代表推理小説全集2 黒岩 重吾 他 ¥三七〇	道難 日本代表推理小説全集1 松本 清張 他 ¥四三〇	罪(あな) 長編推理小説 結城 昌治 ¥三〇〇	沖縄海賊 長編推理小説 笹沢 左保 ¥三〇〇	華麗なる醜聞 長編推理小説 佐野 洋 ¥三二〇	悪女の条件 長編小説 梶山 季之 ¥六〇〇
波止場の捜査検事 連作推理小説 高木 彬光 ¥五八〇	狂った脂粉 長編小説 梶山 季之 ¥五八〇	墓場への持参金 長編推理小説 多岐川 恭 ¥二五〇	連環 長編小説 松本 清張 ¥六〇〇	野望の獵犬 長編推理小説 三好 徹 ¥三五〇	城をとる話 長編小説 司馬 遼太郎 ¥二八〇	ゼロの蜜月 長編推理小説 高木 彬光 ¥五八〇	黄土の奔流 長編小説 生島 治郎 ¥三〇〇	山峡の章 長編推理小説 松本 清張 ¥五八〇	一発屋大六 長編小説 城山 三郎 ¥五五〇	非常階段 長編小説 梶山 季之 ¥六〇〇	鉛の箱(コンテナ) 長編推理小説 邦光 史郎 ¥三〇〇	夜間飛行 長編小説 黒岩 重吾 ¥六〇〇



長編時代小説 破壊指令 No. 1 大藪 春彦 ¥五五〇	長編時代小説 天保図録(上)(中)(下) 松本 清張 各¥三五〇	長編小説 風雲に乗る 城山 三郎 ¥三三〇	長編時代小説 変人武士道 南條 範夫 ¥六五〇	長編推理小説 蒼ざめた礼服 松本 清張 ¥六〇〇	サスペンス小説 沼の花影 黒岩 重吾 ¥三五〇	長編小説 おれの敵がそこにいる 柴田錬三郎 ¥五五〇	長編小説 てやんでエ 梶山 季之 ¥六五〇	長編推理小説 脱税者 佐賀 潜 ¥四八〇	長編推理小説 天の踊り 黒岩 重吾 ¥六〇〇	長編推理小説 偽装工作 高木 彬光 ¥五五〇	推理巷談 幽霊紳士 柴田錬三郎 ¥四〇〇	長編時代小説 逃亡(上)(下) *松本 清張 ¥(上)三〇〇(下)三三〇
長編時代小説 最後の自白 高木 彬光 ¥五八〇	長編推理小説 闇の杭跡 黒岩 重吾 ¥五八〇	長編時代小説 お耳役槍十三郎捕物帖 島田 一男 ¥二六〇	長編小説 北の詩人 松本 清張 ¥二九〇	長編推理小説 円形の賭け 三好 徹 ¥三〇〇	長編推理小説 追いつめる 生島 治郎 ¥五五〇	長編推理小説 炎の女 高木 彬光 ¥六〇〇	長編推理小説 女の氷河 黒岩 重吾 ¥六五〇	事件推理小説 ある秘書官の死 梶山 季之 ¥五〇〇	長編推理小説 闇のよぶ声 遠藤 周作 ¥三三〇	長編推理小説 都会の狼 高木 彬光 ¥六〇〇	長編推理小説 会社喰い 佐賀 潜 ¥五八〇	長編スパイ小説 参謀本部の密使 *南條 範夫 ¥三二〇
長編推理小説 霧の囃 高木 彬光 ¥五八〇	社会小説 蜜の味 梶山 季之 ¥五八〇	長編時代小説 幕府パリで戦う 南條 範夫 ¥三〇〇	長編時代小説 禁断の肌 *北原 武夫 ¥三八〇	長編小説 笑い陰陽師 山田風太郎 ¥二九〇	連作忍法小説おん 戦雲の夢 *司馬遼太郎 ¥三一〇	長編時代小説 戦雲の夢 *司馬遼太郎 ¥三一〇	長編小説 二十四の瞳 壺井 栄 ¥二八〇	長編推理小説 二重葉脈 松本 清張 ¥六〇〇	長編推理小説 傷だらけの競走車 *梶山 季之 ¥五八〇	長編アクション小説 復讐の弾道 大藪 春彦 ¥五八〇	長編推理小説 代議士逮捕 佐賀 潜 ¥五八〇	連作推理小説 黒の様式 松本 清張 ¥五八〇

長編小説 神聖喜劇①(上)(下) 大西 巨人 各¥三五〇	戦争小説 硫黄島に死す 城山 三郎 ¥三五〇	長編時代小説 第三の浪士 南條 範夫 ¥四五〇	長編時代小説 火の縄 松本 清張 ¥三五〇	長編アクション小説 非情の標的 大藪 春彦 ¥五〇〇	長編アクション小説 ゲリラの群れ 野坂 昭如 ¥三五〇	長編小説 ながい午後 立原 正秋 ¥三三〇	長編推理小説 Dの複合 松本 清張 ¥六〇〇	長編推理小説 幻の工場群 佐賀 潜 ¥三五〇	長編推理小説 肉の壁 宇能鴻一郎 ¥三八〇	長編推理小説 夜の地下銀行 邦光 史郎 ¥五五〇	長編小説 肌と金 黒岩 重吾 ¥六〇〇	二大長編推理小説集 弱気の蟲 松本 清張 ¥六〇〇
長編小説 地図にない沼 佐賀 潜 ¥五八〇	連作推理小説 ヒットラーの遺産 五木 寛之 ¥三三〇	長編小説 騒動師たち 野坂 昭如 ¥三三〇	長編推理小説 鍵孔のない扉 鮎川 哲也 ¥五八〇	長編推理小説 内海の輪 松本 清張 ¥五八〇	長編小説 お待ちなせえ(上)(下) 梶山 季之 ¥(上)五〇〇(下)三〇〇	長編推理小説 追われる刑事 高木 彬光 ¥五八〇	長編推理小説 全開で飛ばせ 大藪 春彦 ¥五八〇	現代ミステリー傑作選3 湖底の賭 梶山 季之 他 ¥五八〇	現代ミステリー傑作選2 氷つた果実 黒岩 重吾 他 ¥五八〇	現代ミステリー傑作選1 種族同盟 松本 清張 他 ¥五八〇	長編小説 人妻だから 梶山 季之 ¥五五〇	悪女たちの饗宴 北原 武夫 ¥三三〇
長編推理小説 わるいやつら(上)(下) 松本 清張 各¥五五〇	長編推理小説 轢き逃げ 佐野 洋 ¥六〇〇	長編推理小説 詐欺師の旅 黒岩 重吾 ¥五五〇	長編アクション小説 裁くのは俺だ 大藪 春彦 ¥五五〇	長編アクション小説 影の棲息者 佐賀 潜 ¥五八〇	長編小説 密閉集団 梶山 季之 ¥三三〇	長編推理小説 裂けた視覚 高木 彬光 ¥五五〇	長編推理小説 価格破壊(ダライス) 城山 三郎 ¥三五〇	長編推理小説 黒白の囃 高木 彬光 ¥五〇〇	長編推理小説 分離の時間 松本 清張 ¥五八〇	長編アクション小説 俺に墓はいらない 大藪 春彦 ¥五五〇	長編時代小説 妖の忍法帖 山田 風太郎 ¥五〇〇	長編小説 美男奴隸 梶山 季之 ¥五〇〇

長編推理小説 灰の女 高木 彬光 ¥五五〇	長編小説 千金の夢 三好 徹 ¥三五〇	長編推理小説 鷗外の婢 松本 清張 ¥六〇〇	連作企鵝小説 びかたん 梶山 季之 ¥五五〇	長編推理小説 新幹線殺人事件 森村 誠一 ¥五五〇	長編アクション小説 日銀ダイヤ作戦 大藪 春彦 ¥五〇〇	長編推理小説 けものみち(上下) 松本 清張 各¥五五〇	連作時代小説 悪の捕物帖 佐賀 潜 ¥六〇〇	長編推理小説 奥の細道殺人事件 斎藤 栄 ¥五五〇	長編推理小説 黄金の鍵 高木 彬光 ¥五八〇	連作アクション小説 東名高速に死す 大藪 春彦 ¥五八〇	長編推理小説 波の墓標 島田 一男 ¥三三〇	長編小説 怒りの回路 清水 一行 ¥三三〇
長編推理小説 炎の旅路 邦光 史郎 ¥三三〇	長編推理小説 東京空港殺人事件 森村 誠一 ¥五五〇	長編推理小説 危険な水系 斎藤 栄 ¥五〇〇	長編推理小説 天皇の密使(第一部) 高木 彬光 ¥五五〇	長編推理小説 神々の黄昏(第二部) 高木 彬光 ¥五八〇	長編小説 ある朝海に豪華計画 西村京太郎 ¥三八〇	長編推理小説 球形の荒野 松本 清張 ¥六〇〇	連作アクション小説 曠野に死す 大藪 春彦 ¥五五〇	長編時代小説 秘聞柳生石舟斎 八切 止夫 ¥三五〇	長編推理小説 梅雨と西洋風呂 松本 清張 ¥五五〇	長編推理小説 聞かなかつた場所 松本 清張 ¥五〇〇	長編小説 女(おんなはし)橋 藤本 義一 ¥三五〇	長編推理小説 超高層ホテル殺人事件 森村 誠一 ¥五五〇
最新ミステリー選集1 二冊の同じ本 松本清張 他 ¥六〇〇	最新ミステリー選集2 家紋 松本清張 他 ¥六〇〇	最新ミステリー選集3 新開地の事件 松本清張 他 ¥六〇〇	長編推理小説 脱出 西村京太郎 ¥三五〇	長編推理小説 生けるパスカル 松本 清張 ¥六〇〇	長編推理小説 香港(ホン)殺人旅行 斎藤 栄 ¥五〇〇	長編アクション小説 暴力列島 大藪 春彦 ¥五八〇	長編小説 重役室 清水 一行 ¥五〇〇	長編推理小説 明日を買う男 邦光 史郎 ¥六〇〇	長編推理小説 歪んだ複写(税務署殺人事件) 松本 清張 ¥五八〇	長編小説 透明(おんな)女 戸川 昌子 ¥五八〇	長編情報小説 コンピュータが死んだ日 石原 藤夫 ¥三五〇	長編小説 躁鬱(そう)旅行 佐藤 愛子 ¥三五〇

長編推理小説 夜と昼の神話 邦光 史郎 ¥五八〇	長編推理小説 黒部ルート殺人旅行 斎藤 栄 ¥五五〇	長編推理小説 伊豆七島殺人事件 西村京太郎 ¥四八〇	時代推理小説 続地獄の辰無残捕物控 笹沢 左保 ¥五五〇	時代推理小説 地獄の辰無残捕物控 笹沢 左保 ¥五〇〇	長編推理小説 遠い接近 松本 清張 ¥五八〇	長編小説 うまい話あり 城山 三郎 ¥五八〇	長編推理小説 日本アルプス殺人事件 森村 誠一 ¥五五〇	長編推理小説 妻に捧げる犯罪 土屋 隆夫 ¥五五〇	長編推理小説 蒸発 ある愛の終わり 夏樹 静子 ¥五八〇	長編アクション小説 狼は暁を駆ける 大藪 春彦 ¥五〇〇	長編時代小説 わが恋せし淀君 南條 範夫 ¥三八〇	長編小説 びらめんなエ 堀山 季之 ¥五〇〇
長編推理小説 科学捜査官 島田 一男 ¥五〇〇	長編推理小説 カーラリー殺人事件 石沢英太郎 ¥五八〇	長編推理小説 外套と短剣 三好 徹 ¥五〇〇	SF長編小説 日本沈没(下) 小松 左京 各¥四三〇	長編推理小説 真屋の誘拐 森村 誠一 ¥五五〇	長編推理小説 表象詩人 松本 清張 ¥五八〇	長編推理小説 エーゲ海に死す 南條 範夫 ¥六〇〇	長編推理小説 天使が消えた 三好 徹 ¥五五〇	長編推理小説 闇の肌 黒岩 重吾 ¥六〇〇	連作推理小説 精神分析殺人事件 森村 誠一 ¥四八〇	長編小説 赤鼻のキリスト 佐藤 愛子 ¥三五〇	長編推理小説 不安な演奏 松本 清張 ¥五八〇	長編推理小説 踊り子殺人事件 嵯峨島 昭 ¥五〇〇
長編推理小説 ダイナマイト円舞曲 小泉喜美子 ¥四〇〇	長編推理小説 邪馬台(た)国の秘密 高木 彬光 ¥四〇〇	長編時代小説 無頼武士道 南條 範夫 ¥六五〇	長編推理小説 殺人変奏曲 大谷 幸太郎 ¥五〇〇	長編推理小説 唐三彩の謎 石沢英太郎 ¥五五〇	長編推理小説 神曲地獄篇 高木 彬光 ¥五〇〇	長編推理小説 赤い帆船 西村京太郎 ¥六〇〇	長編推理小説 虹の舞台 陳 舜臣 ¥四八〇	長編推理小説 喪失 ある殺意のゆくえ 夏樹 静子 ¥五八〇	長編推理小説 彩霧(さいむ) 松本 清張 ¥四八〇	奇想歴史小説 ミイラ志願 高木 彬光 ¥五〇〇	長編推理小説 雪の炎 新田 次郎 ¥五〇〇	長編小説 らっきょうの花 花登 篁 各¥五〇〇



礼遇の資格 ベスト・ミステリー④ 松本清張他 ¥六〇〇	恩誼(おんぎ)の紐 ベスト・ミステリー② 松本清張他 ¥六〇〇	東経一三九度線 ベスト・ミステリー① 松本清張他 ¥六〇〇	黒魔術の女 長編推理小説 森村誠一 ¥五五〇	白い華燭 長編推理小説 嵯峨島昭 ¥六〇〇	一、二、三—死 長編推理小説 高木彬光 ¥四八〇	同族企業 長編推理小説 清水一行 ¥五八〇	幻の近江京 長編推理小説 邦光史郎 ¥六〇〇	女相続人 小説 草野唯雄 ¥五五〇	碩の殺し屋 小説 梶山季之 ¥六〇〇	設計者 小説 森村誠一 ¥五〇〇	見つけている 小説 菊村到 ¥五八〇	せす 小説 松本清張 ¥六〇〇	王将殺人 長編推理小説 斎藤栄 ¥五〇〇	溺れ谷 長編小説 松本清張 ¥五〇〇	六人目の女 長編推理小説 川上宗薫 ¥四八〇	千分の一秒殺人事件 長編推理小説 太田俊夫 ¥五〇〇	動脈列島 長編推理小説 清水一行 ¥六〇〇	轢き逃げ家族 長編推理小説 笹沢左保 ¥五〇〇	幻の悪魔 長編推理小説 高木彬光 ¥四八〇	夜の駐車場 長編小説 黒岩重吾 ¥六五〇	東海道・無頼旅 時代推理小説 笹沢左保 ¥六〇〇	徒然草(れむぎ)殺人事件 長編推理小説 斎藤栄 ¥五〇〇	幻の高松塚 長編推理小説 邦光史郎 ¥五五〇	もう一人の乗客 長編推理小説 草野唯雄 ¥五五〇	消えたタンカー 長編推理小説 西村京太郎 ¥五八〇	目撃ある愛のはじまり 長編推理小説 夏樹静子 ¥六〇〇	指名手配 長編推理小説 森村誠一 ¥六〇〇	下り(下)はつかり 鉄道ミステリー傑作選 鮎川哲也編 ¥六五〇	象の白い脚 長編小説 松本清張 ¥五〇〇	深夜の訪問者 長編推理小説 大谷羊太郎 ¥六〇〇	牧場に消える 長編推理小説 佐野洋 ¥六〇〇	二重条痕 長編小説 太田俊夫 ¥五〇〇	やさぐれ刑事 長編アクション小説 藤本義一 ¥五五〇	花の棺 長編推理小説 山村美紗 ¥五五〇	地の骨(下) 長編小説 松本清張 各¥五五〇	謎の巨人機 長編推理小説 福本和也 ¥五〇〇
--	--	--	---	--	---	--	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	------------------------------------	---	---------------------------------------	---	---	--	--	--	---	---	---	---	---	--	--	--	--	---	---	---	--	---	---	---	---

KAPPA NOVELS



光文社の「カッパ・ノベルス」誕生のことば

カッパ・ブックス Kappa Books の姉妹シリーズが生まれた。カッパ・ブックスは書下ろしのノン・フィクション（非小説）を主体としたが、カッパ・ノベルス Kappa Novels は、その名のごとく長編小説を主体として出版される。

もともとノベルとは、ニューとか、ニューズと語源を同じくしている。新しいもの、新奇なもの、はやりもの、つまりは、新しい事実の物語というところから出ている。今日われわれが生活している時代の「詩と真実」を描き出す——そういう長編小説を編集していきたい。これがカッパ・ノベルスの念願である。

したがって、小説のジャンルは、一方に片寄らず、日本的風土の上に生まれた、いろいろの傾向、さまざまな種類を包蔵したものでありたい。かくて、カッパ・ノベルスは、文学を一部の愛好家だけのものから開放して、より広く、より多くの同時代人に愛され、親しまれるものとなるように努力したい。読み終えて、人それぞれに「ああ、おもしろかった」と感じられれば、私どもの喜び、これにすぎるものはない。

昭和三十四年十二月二十五日

『俺に墓はいらない』は、週刊「平凡パンチ」（平凡出版）に、昭和四十三年十月二十一日号から四十四年五月二十六日号まで連載されたものに一部加筆したものです。

^{おれ}俺に^{はか}墓はいらない

^{おお}大^{やぶ}藪^{はる}春^{ひこ}彦



カッパ・ノベルス

目次

スクランブル	5	乗っ取り	123
秘密指令	13	地雷	131
要求	20	虎口に	137
報酬	27	暴発	145
航空電子部	34	拷問室	152
罨	41	檻	160
爆薬	48	泥沼	168
コルト・パイソン	56	甘い餌	174
美しい罨	63	水責め	181
ハッシーシ	71	原潜通信基地	189
供述	79	瑠美	196
警報器	85	ホモ	202
侵入	93	逆転	210
快樂同盟	100	危険なゲーム	217
突撃銃	108	ゲーム・セット	224
原子力潜水艦	115		

本文のイラスト・
辰巳四郎

スクランブル

福岡県板付^{いづつけ}。半ば地下にあって、厚い鋼鉄の扉^{かじり}にふさがれたバッジ・システムの航空自衛隊防空戦闘指揮所。そこは、清潔な小さな映画館のようにも見えた。二階バルコニーに当たる場所には、指揮官席や幕僚室がある。

そして、下の状況表示の作業室は、正面に日本全土やそれを取りまく各国の海岸線が描かれたカラー・データ・スクリーンがある。鮮やかな色のスクリーンの日本地図には、各基地も記入されている。そのスクリーンの左右には、各航空基地の迎撃機団^{むげききだん}の待機状況から、対空ミサイルの整備状況までが、さまざまな色と数字で表示されている。

その状況表示板^{じきょうひょうばん}は、データにしたがって刻々と数字を変えた。

そして今、カラー・スクリーンの手前に数列に並んだ

制御装置^{せいぎょしるふ}のスクープを覗く管制官たちの表情に強い緊張があらわれていた。緊張と共にかすかな誇らし気な表情もある。管制官のうしろには、アメリカ人の指導員がついていた。

誇らし気なのは、故障続きであった半自動防空地上警戒管制組織^{けいけいかんせい}が、珍しく快調に作動しているからであった。防空戦闘指揮所のなかは薄暗く、エア・コンディショナーで気温に変化はないが、バッジ・システムが快調なのは、状況表示板が教えるところによると、今日は日本全土が雲一つない秋晴れのもとにあるせいかもしれない。

周知のように、日本の防空は全国二十四個所のレーダー基地網^{きいちま}によって支えられていて、戦闘機はレーダー基地から敵機の所在を教えられ、会敵点^{かいてきてん}へと無線で誘導されるわけだが、手動で計算するために、目標機を発見しても、それが敵機であるか味方機かを識別するまでに三分はかかる。敵機がマッハ二のスピードを出していたら、その間に百二十キロは飛んでいる。

そこで、コンピュータを利用したバッジが輸入されることになった。

バッジを製造している大手は、アメリカに三社ある。